

愛知県支部	愛知県自閉症 医療マップ* 6		受診時カード	
* 6 あいち発達障害者支援センター作成 http://www.pref.aichi.jp/hsc/asca/ 関係窓口に配布し管理、利用されている。サイト内での紹介なし。				
京都府支部	なし	なし	医療用絵カード * 7	
* 7 http://web.kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/ask/index.html 販売中。				
横浜市支部	なし	なし	救急車用コミュニ ケーションボ ード * 8	
* 8 http://www5d.biglobe.ne.jp/~yamabiko/ コンビニパンフとともに、 ダウンロード可				
そ の 他 事 業 所 な ど	自閉症東京都内福祉 資源データベース	東京都内の医療機関のほか、あらゆる社会資源をアン ケートによりデータベース化		
	http://www.kisenfukushi.jp/index-s.html			
	電気神奈川福祉セン ター	障害を持った従業員の健康管理マニュアル		
	http://www.denkikanagawa.or.jp/employment/2-9.html			
	障害者職業総合セン ター研究部門	日常の健康管理について当事者向けに分かりやすく 説明したハンドブック。		
http://www.nivr.jeed.or.jp/research/kyouzai/08_kenkou.html ダウンロ ード可				

知的障害者の健康問題についてのサイト

国立のぞみの園	健康管理セミナー「知的障害者医療の現状と課題」 http://www.nozomi.go.jp/newsletter/news_07/news_07_3.htm
日本知的障害福祉 連盟	「知的障害を持つ人たちの健康問題」連盟会長有馬正高先生 の問題提議 http://www13.ocn.ne.jp/~jlid/JLNEWS/jl31.htm
がじゅまる	障害者の医療について情報の集積を目指す。 http://homepage2.nifty.com/gajyumaru/

厚労省からの統計とマニュアル

厚生労働省 社会援護局	平成17年度知的障害児(者)基礎調査結果の概要
http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/titeki/index.html	
厚生労働省 母子保健局	軽度発達障害児に対する気づきと支援のマニュアル
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken07/index.html	

Ⅸ 「発達障害にある人の診療ハンドブックー医療のバリアフリー」の作成と配布先一覧

以上のような内容をもとに、「発達障害にある人の診療ハンドブックー医療のバリアフリー」を3000冊作成した。冊子見本を巻末に掲載した。

冊子の配布は以下の通りであった。配布先一覧を掲載した。

表 「発達障害にある人の診療ハンドブックー医療のバリアフリー」

都道府県政令指定都市障害福祉課、 都道府県政令指定都市病院担当部署 都道府県政令指定都市特別支援教育担当部署 都道府県市地区医師会 都道府県市地区歯科医師会 都道府県看護協会 全国発達障害者支援センター 全国特別支援学校 大学医学部、大学歯学部、大学教育学部 都道府県自閉症協会、都道府県育成会 JDDネット、LD協会、アスペエルデの会、エジソンクラブ、 エッジ発達障害医療関係者

なお、今後、医学部・歯学部・看護学部等の医療関係大学や、特別支援教員養成課程の大学では、医療関係者および教育関係者に対して教育カリキュラムの中に組み込んで標準として「発達障害医療受診に関する教育」が行われることが望まれる。

今回、冊子を配布した「医学部・歯学部・看護学部等の医療関係大学」および「特別支援教員養成課程の大学」については配布先一覧を掲載した。

「07年度 発達障害のある人の診療ハンドブック」配布先一覧

■大学 医学部-1

冊数	名称	住所
1	北海道大学 医学部医学科	札幌市北区北15条西7丁目
1	旭川医科大学 医学部医学科	旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
1	弘前大学 医学部医学科	弘前市在府町5
1	東北大学 医学部医学科	仙台市青葉区星陵町2-1
1	秋田大学 医学部医学科	秋田市本道1-1-1
1	山形大学 医学部医学科	山形市飯田西2-2-2
1	筑波大学 医学群	つくば市天王台1-1-1
1	群馬大学 医学部医学科	前橋市昭和町3-39-22
1	千葉大学 医学部医学科	千葉市中央区亥鼻1-8-1
1	東京大学 医学部医学科	文京区本郷7-3-1
1	東京医科歯科大学 医学部医学科	文京区湯島1-5-45
1	新潟大学 医学部医学科	新潟市旭町通一番町757
1	金沢大学 医学部医学科	金沢市宝町13-1
1	山梨大学 医学部医学科	中巨摩郡玉穂町下河東1110
1	信州大学 医学部医学科	松本市旭3-1-1
1	岐阜大学 医学部医学科	岐阜市司町40
1	名古屋大学 医学部医学科	名古屋市昭和区鶴舞町65
1	三重大学 医学部医学科	津市江戸橋2-174
1	京都大学 医学部医学科	京都市左京区吉田近衛町
1	大阪大学 医学部医学科	吹田市山田丘2-2
1	神戸大学 医学部医学科	神戸市中央区楠町7-5-1
1	鳥取大学 医学部医学科	米子市西町86
1	岡山大学 医学部医学科	岡山市鹿田町2-5-1
1	広島大学 医学部医学科	広島市南区霞1-2-3
1	山口大学 医学部医学科	宇部市大字小串1144
1	徳島大学 医学部医学科	徳島市蔵本町3-18-15
1	愛媛大学 医学部医学科	温泉郡重信町大字志津川
1	九州大学 医学部医学科	福岡市東区馬出3-1-1
1	長崎大学 医学部医学科	長崎市坂本1-12-4
1	熊本大学 医学部医学科	熊本市本荘2-2-1
1	鹿児島大学 医学部医学科	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
1	琉球大学 医学部医学科	中頭郡西原町字上原207
1	浜松医科大学 医学部医学科	浜松市半田山一丁目20番1号
1	滋賀医科大学 医学部医学科	大津市瀬田月輪町
1	宮崎大学 医学部医学科	宮崎郡清武町大字木原5200
1	富山大学 医学部医学科	富山市杉谷2630
1	島根大学 医学部医学科	出雲市塩治町89-1
1	高知大学 医学部医学科	南国市岡豊町小蓮
1	佐賀大学 医学部医学科	佐賀市鍋島5-1-1
1	大分大学 医学部医学科	大分郡挾間町医大ヶ丘1-1
1	福井大学 医学部医学科	吉田郡松岡町下合月23-3
1	香川大学 医学部医学科	木田郡三木町大字池戸1750-1
1	札幌医科大学 医学部医学科	札幌市中央区南1条西17丁目-291
1	福島県立医科大学 医学部医学科	福島市光が丘1
1	横浜市立大学 医学部医学科	横浜市金沢区福浦3-9
1	名古屋市立大学 医学部医学科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
1	京都府立医科大学 医学部医学科	京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
1	大阪市立大学 医学部医学科	大阪市阿倍野区旭町1-4-3
1	奈良県立医科大学 医学部医学科	橿原市四条町840
1	和歌山県立医科大学 医学部医学科	和歌山市紀三井寺811-1
1	岩手医科大学 医学部医学科	盛岡市内丸19-1

「07年度 発達障害のある人の診療ハンドブック」配布先一覧

■大学 医学部－2

冊数	名称	住所
1	自治医科大学 医学部医学科	河内郡南河内町薬師寺3311-1
1	獨協医科大学 医学部医学科	下都賀郡壬生町北小林880
1	埼玉医科大学 医学部医学科	入間郡毛呂山町毛呂本郷38
1	北里大学 医学部医学科	相模原市北里1-15-1
1	杏林大学 医学部医学科	三鷹市新川6-20-2
1	慶應義塾大学 医学部医学科	新宿区信濃町35
1	順天堂大学 医学部医学科	文京区本郷2丁目1番1号
1	昭和大学 医学部医学科	品川区旗の台1-5-8
1	帝京大学 医学部医学科	板橋区加賀2-11-1
1	東海大学 医学部医学科	伊勢原市望星台
1	東京医科大学 医学部医学科	新宿区新宿6-1-1
1	東京慈恵会医科大学 医学部医学科	港区西新橋3-25-8
1	東京女子医科大学 医学部医学科	新宿区河田町8-1
1	東邦大学 医学部医学科	大田区大森西5-21-16
1	日本大学 医学部医学科	板橋区大谷口上町30-1
1	日本医科大学 医学部医学科	文京区千駄木1-1-5
1	聖マリアンナ医科大学 医学部医学科	川崎市宮前区菅生2-16-1
1	金沢医科大学 医学部医学科	河北郡内灘町大学1-1
1	愛知医科大学 医学部医学科	愛知郡長久手町大字岩作字雁又21
1	藤田保健衛生大学 医学部医学科	豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
1	大阪医科大学 医学部医学科	高槻市大学町2-7
1	関西医科大学 医学部医学科	守口市文園町10-15
1	近畿大学 医学部医学科	大阪狭山市大野東377-2
1	兵庫医科大学 医学部医学科	西宮市武庫川町1-1
1	川崎医科大学 医学部医学科	倉敷市松島577
1	久留米大学 医学部医学科	久留米市旭町67
1	福岡大学 医学部医学科	福岡市城南区七隈7-45-1
1	産業医科大学 医学部医学科	北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
1	防衛医科大学校 医学科	所沢市並木3-2
80	小計<医学部>	

「07年度 発達障害のある人の診療ハンドブック」配布先一覧

■大学 歯学部

冊数	名称	住所
1	北海道大学 歯学部歯学科	札幌市北区北13条西7丁目
1	東北大学 歯学部歯学科	仙台市青葉区星陵町2-1
1	東京医科歯科大学 歯学部歯学科	文京区湯島1-5-45
1	新潟大学 歯学部歯学科	新潟市学校町通2-5274
1	大阪大学 歯学部歯学科	吹田市山田丘1-8
1	広島大学 歯学部歯学科	広島市南区霞1-2-3
1	徳島大学 歯学部歯学科	徳島市蔵本町3-18-15
1	九州大学 歯学部歯学科	福岡市東区馬出3-1-1
1	長崎大学 歯学部歯学科	長崎市坂本1-7-1
1	鹿児島大学 歯学部歯学科	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
1	九州歯科大学 歯学部歯学科	北九州市小倉北区真鶴2-6-1
1	岩手医科大学 歯学部歯学科	盛岡市中央通1-3-27
1	奥羽大学 歯学部歯学科	郡山市富田町字三角堂31-1
1	明海大学 歯学部歯学科	坂戸市けやき台1-1
1	昭和大学 歯学部歯学科	品川区旗の台1-5-8
1	東京歯科大学 歯学部歯学科	千葉市美浜区真砂1-2-2
1	日本大学 松戸歯学部歯学科	松戸市栄町西 2-870-1
1	日本大学 歯学部歯学科	代田区神田駿河台1-8-13
1	日本歯科大学 歯学部歯学科	千代田区富士見1-9-20
1	日本歯科大学 新潟歯学部歯学科	新潟市浜浦町1-8
1	神奈川歯科大学 歯学部歯学科	横須賀市稲岡町82
1	鶴見大学 歯学部歯学科	横浜市鶴見区鶴見2-1-3
1	松本歯科大学 歯学部歯学科	塩尻市広丘郷原1780
1	朝日大学 歯学部歯学科	本巣郡穂積町大字穂積1851-1
1	愛知学院大学 歯学部歯学科	名古屋市千種区楠元町1-100
1	大阪歯科大学 歯学部歯学科	枚方市楠葉花園町8-1
1	福岡歯科大学 歯学部歯学科	福岡市早良区田村2-15-1
1	北海道医療大学 歯学部歯学科	石狩郡当別町金沢1757
28	小計<歯学部>	

「07年度 発達障害のある人の診療ハンドブック」配布先一覧

■大学 特別支援教育-1

冊数	大学名	研究科等名	住所
1	富山大学	教育学研究科	富山市五福3190
1	北海道教育大学	教育学部	札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号
1	北海道教育大学	特別支援教育特別専攻科	札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号
1	北海道大学	教育学部	札幌市北区北11条西7丁目
1	弘前大学	教育学部	弘前市文京町1番地
1	岩手大学	教育学部	岩手県盛岡市上田3-18-34
1	岩手大学	特別支援教育特別専攻科	岩手県盛岡市上田3-18-34
1	宮城教育大学	教育学部	仙台市青葉区荒巻字青葉149
1	宮城教育大学	特別支援教育特別専攻科	仙台市青葉区荒巻字青葉149
1	東北大学	教育学部	宮城県仙台市青葉区川内27-1
1	秋田大学	教育文化学部	秋田市手形学園町1-1
1	秋田大学	特別支援教育特別専攻科	秋田市手形学園町1-1
1	山形大学	地域教育文化学部	山形市小白川町1丁目4-12
1	福島大学	人間発達文化学類	福島市金谷川1番地
1	茨城大学	教育学部	茨城県水戸市文京2丁目1番1号
1	茨城大学	特別支援教育特別専攻科	茨城県水戸市文京2丁目1番1号
1	筑波大学	教育研究科	茨城県つくば市天王台1-1-1
1	筑波大学	第二学群	茨城県つくば市天王台1-1-1
1	宇都宮大学	教育学部	栃木県宇都宮市峰町350
1	群馬大学	教育学部	群馬県前橋市荒牧町4-2
1	群馬大学	特別支援教育特別専攻科	群馬県前橋市荒牧町4-2
1	埼玉大学	教育学部	埼玉県さいたま市桜区下大久保255
1	埼玉大学	特別支援教育特別専攻科	埼玉県さいたま市桜区下大久保255
1	千葉大学	教育学部	千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
1	千葉大学	特別支援教育特別専攻科	千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
1	東京学芸大学	教育学部	東京都小金井市貫井北町4-1-1
1	東京学芸大学	特別支援教育特別専攻科	東京都小金井市貫井北町4-1-1
1	横浜国立大学	教育学研究科	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1
1	横浜国立大学	教育人間科学部	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1
1	横浜国立大学	特別支援教育特別専攻科	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1
1	上越教育大学	学校教育研究科	新潟県上越市山屋敷町1番地
1	新潟大学	教育人間科学部	新潟市西区五十嵐2の町8050番地
1	金沢大学	教育学部	金沢市角間町
1	福井大学	教育地域科学部	福井県福井市文京3-9-1
1	福井大学	特別支援教育特別専攻科	福井県福井市文京3-9-1
1	山梨大学	教育人間科学部	甲府市武田4-4-37
1	山梨大学	特別支援教育特別専攻科	甲府市武田4-4-37
1	信州大学	教育学部	長野市大字西長野6の口
1	岐阜大学	教育学部	岐阜市柳戸1-1
1	岐阜大学	特別支援教育特別専攻科	岐阜市柳戸1-1
1	静岡大学	教育学部	静岡市駿河区大谷836
1	愛知教育大学	教育学部	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
1	愛知教育大学	特別支援教育特別専攻科	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
1	三重大学	教育学部	三重県津市栗真町屋町1577
1	三重大学	特別支援教育特別専攻科	三重県津市栗真町屋町1577
1	滋賀大学	教育学部	滋賀県大津市平津2-5-1
1	滋賀大学	特別支援教育特別専攻科	滋賀県大津市平津2-5-1
1	京都教育大学	教育学部	京都市伏見区深草藤森町1番地
1	京都教育大学	特別支援教育特別専攻科	京都市伏見区深草藤森町1番地
1	京都大学	教育学部	京都市左京区吉田本町
1	大阪教育大学	教育学部第一部	大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
1	大阪教育大学	特別支援教育特別専攻科	大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
1	神戸大学	発達科学部	神戸市灘区鶴甲3丁目11
1	兵庫教育大学	学校教育研究科	兵庫県加東市下久米942-1
1	奈良教育大学	教育学部	奈良県奈良市高畑町
1	奈良教育大学	特別支援教育特別専攻科	奈良県奈良市高畑町
1	和歌山大学	教育学部	和歌山市栄谷930
1	和歌山大学	特別支援教育特別専攻科	和歌山市栄谷930
1	鳥取大学	地域学部	鳥取市湖山町南4-101
1	島根大学	教育学部(第一部)	島根県松江市西川津町1060

「07年度 発達障害のある人の診療ハンドブック」配布先一覧

■大学 特別支援教育-2

冊数	大学名	研究科等名	住所
1	岡山大学	教育学部	岡山県岡山市津島中3-1-1
1	岡山大学	特別支援教育特別専攻科	岡山県岡山市津島中3-1-1
1	広島大学	教育学部	東広島市鏡山1-1-1
1	広島大学	特別支援教育特別専攻科	東広島市鏡山1-1-1
1	山口大学	教育学部	山口市吉田1677-1
1	鳴門教育大学	学校教育学部	徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
1	香川大学	教育学部	香川県高松市幸町1-1
1	香川大学	特別支援教育特別専攻科	香川県高松市幸町1-1
1	愛媛大学	教育学部	愛媛県松山市文京町3番
1	高知大学	教育学部	高知市曙町2丁目5-1
1	福岡教育大学	教育学部	福岡県宗像市赤間文教町1-1
1	福岡教育大学	特別支援教育特別専攻科	福岡県宗像市赤間文教町1-1
1	佐賀大学	文化教育学部	佐賀市本庄町1番地
1	長崎大学	教育学部	長崎市文教町1-14
1	熊本大学	教育学部	熊本市黒髪2丁目40番1号
1	熊本大学	特殊教育特別専攻科	熊本市黒髪2丁目40番1号
1	大分大学	教育福祉科学部	大分市大字旦野原700番地
1	宮崎大学	教育文化学部	宮崎市学園木花台西1-1
1	鹿児島大学	教育学部	鹿児島市郡元一丁目20番6号
1	琉球大学	教育学部	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
1	琉球大学	特別支援教育特別専攻科	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
1	山口県立大学	社会福祉学部	山口県山口市桜島3-2-1
1	藤女子大学	人間生活学部	北海道石狩市花川南4条5丁目
1	道都大学	社会福祉学部	北海道北広島市中之沢149番地
1	北翔大学	生涯学習システム学部	北海道江別市文京台23番地
1	札幌学院大学	人文学部	北海道江別市文京台11番地
1	北星学園大学	社会福祉学部	北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1
1	弘前学院大学	社会福祉学部	青森県弘前市稔町13-1
1	青森大学	社会学部	青森県青森市幸畑2-3-1
1	仙台大学	体育学部	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18
1	東北福祉大学	総合福祉学部	宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番1号
1	作新学院大学	人間文化学部	栃木県宇都宮市竹下町908
1	群馬社会福祉大学	社会福祉学部	群馬県前橋市川曲町191-1
1	東京福祉大学	社会福祉学部	東京都豊島区東池袋4-23-1
1	東京国際大学	人間社会学部	埼玉県川越市の場2509
1	文教大学	教育学部	埼玉県越谷市南荻島3337
1	淑徳大学	総合福祉学部	千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
1	東京成徳大学	人文学部	千葉県八千代市保品2014
1	順天堂大学	スポーツ健康科学部	千葉県印旛郡印旛村平賀学園台1-1
1	早稲田大学	教育学部	東京都新宿区西早稲田1-6-1
1	東洋大学	文学部第一部	東京都文京区白山5-28-20
1	東洋大学	文学部第二部	東京都文京区白山5-28-20
1	明治学院大学	心理学部	東京都港区白金台1-2-37
1	立正大学	社会福祉学部	埼玉県熊谷市万吉1700
1	金城大学	社会福祉学部	石川県白山市笠間町1200
1	長野大学	社会福祉学部	長野県上田市下之郷658-1
1	東海女子大学	人間関係学部	岐阜県各務原市那加桐野町5-68
1	愛知学院大学	心身科学部	愛知県日進市岩崎町阿良池12
1	愛知新城大谷大学	社会福祉学部	愛知県新城市川路字荻平1-125
1	中京大学	心理学部	名古屋市昭和区八事本町101-2
1	同朋大学	社会福祉学部	名古屋市中村区稲葉地町7-1
1	日本福祉大学	社会福祉学部	愛知県知多郡美浜町奥田
1	皇學館大学	社会福祉学部	三重県伊勢市神田久志本町1704
1	花園大学	社会福祉学部	京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
1	立命館大学	産業社会学部	京都市北区等持院北町56-1
1	龍谷大学	社会学部	大津市瀬田大江町横谷1番5
1	佛光大学	教育学部	京都市北区紫野北花ノ坊町96

Ⅱ．分担研究報告

知的障害・発達障害者の性虐待に関する実態調査
および虐待事態における対応と留意に関する検討

分担研究者

堀江まゆみ、野沢和弘

厚生労働省科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）
分担研究報告

知的障害・発達障害者の性虐待に関する実態調査および虐待事態における対応と留意に関する検討

分担研究者
堀江まゆみ、野沢和弘

1. 目的

地域生活を送る知的障害のある人たちや学校に通う知的障害のある子どもたちが、生活の中で性被害に遭遇している実態を把握し、今後被害にあわないための対策を検討することを目的とした。なお性被害は男女ともに起こるものであるが、今回の調査は特に被害にあいやすいといわれる女兒(女性)について検討を進めた。

2. 調査方法

1) 調査対象

千葉県内の I 市、M 市、F 市に在住する知的障害の女兒（女性）を家族にもつ親や家族 および、千葉県内で知的障害児者を支援する福祉スタッフ 合計 987 名を対象にした。

2) 調査手続きおよび調査内容

調査は質問紙法によった。質問項目は別紙のように 30 項目からなり、性被害経験の有無および被害内容について問うものであった。配布は郵送および直接手渡しにより行い、回収は郵送により行った。回答用紙を巻末に掲載した。

3) 調査用紙回収

回収は 274 通(回収率 28%)であり、そのうち、回答者は親(93.1%)、兄弟姉妹(3.1%)、その他支援者(3.1%)であった。

3. 結果と考察

1) 回答者の子どもの年齢、障害程度、現在の通学(通所場所)

回答者は主に親であり、本調査の対象となった知的障害のある女兒(女性)は小学生から 40 歳代まで各年齢にわたっており、障害程度も各区分ほぼ同様であった。現在の所属は。通所施設に通う女性が一番多く 146 名(53.3%)、幼・保・学校期の児童生徒は 87 名(31.8%)であり、普通学校在籍児 34 名(12.4%)、養護学校在籍児 49 名(17.9%)が

含まれていた。

2) 性被害経験の実態とその特徴—「自分の子ども」において経験した性被害について

性被害経験の実態については、①自分の子どもが経験した、②知人や周りの親の子どもが経験した、という2通りから事例の有無について聞いた。

ここではまず「自分の子どもが経験した」事例について報告する。「何らかの性被害を受けたことがある、との回答は以下のとおりであった。50名(18.2%)が「なんらかの性被害を受けたことがある」と答え、うち半数(26名)は複数回の被害にあっていた。

■「なんらかの性被害を受けたことがある」回答

選択肢	ない	ある (1回 だけ)	ある (2回あ った)	ある (3回あ った)	ある (4回以上 あった)	その 他	無回 答	合計
度数	211	24	10	6	10	2	11	274
割合	77.0%	8.8%	3.6%	2.2%	3.6%	0.7%	4.0%	100%
	80.2%	9.1%	3.8%	2.3%	3.8%	0.8%		100%

回答者の2割近くが性被害にあっていた。知的障害のない子や人の比較可能な正

確なデータがないので断定はできないが、かなり高い頻度であると考えられる。彼らが被害を訴えにくいことを勘案すれば、潜在的にはこれ以上の性被害が存在することが容易に推測できる。

① 性被害の内容とその特徴

性被害の被害内容をみると、「身体に触られた」(42名、うち繰り返しが16名)が一番多く、ついで、「性的な言葉を言われた」(14名)「しつこく追いかけられた、性的なものを見せられた」(15名)も少なくなかった。重篤な性被害である「性的なことで脅された」(8名)「性関係を迫られた/させられた」(5名)という事態も起きており、親が把握しているところだけでこの発生率とすれば、把握できていない被害を含めるとやはり知的障害の女兒(女性)の性被害は思った以上に深刻であると考えられる。

■ 「被害経験がある—「身体に触られたことがある」

選択肢	ない	ある (1回だけ)	ある (同じ時期に、 何回か繰り返し)	ある (違う時期に、 何回か繰り返し)	わからない	その他	無回答	合計
度数	33	27	3	13	6	0	192	274
割合	12.0%	9.9%	1.1%	4.7%	2.2%	0.0%	70.1%	100%
	40.2%	32.9%	3.7%	15.9%	7.3%	0.0%		100%

▼ ② 性被害にあった時期とその特徴

性被害にあった時期について被害内容別にみた。「身体に触られた」被害は被害経験のあった42名中、36名(85.7%)が、小学校や中学、高校に通っていた時期に被害にあっており、以下のように学級別にみると、普通クラスや障害児クラスに通っていた時期に被害が起こっていたことがわかる。加害を加えたものは不審者・市民が多いが、「学校の先生」という回答も1名ではあるがあった。

■ 被害を受けた時期—「身体に触られたことがある」

選択肢	地域の幼稚園・保育園	障害児通園施設	普通小学校普通クラス	普通小学校障害児クラス	普通中学校普通クラス	普通学校障害児クラス	養護学校小学部	養護学校中学部	養護学校高等部	企業や会社	通所施設や作業所	入所施設	その他	無回答	合計
度数	2	1	3	4	3	5	1	0	11	1	6	0	4	233	274
割合	0.7%	0.4%	1.1%	1.5%	1.1%	1.8%	0.4%	0.0%	4.0%	0.4%	2.2%	0.0%	1.5%	85.0%	100%
	4.9%	2.4%	7.3%	9.8%	7.3%	12.2%	2.4%	0.0%	26.8%	2.4%	14.6%	0.0%	9.8%		100%

■加害は誰ですか？—「身体に触られたことがある」

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	6	18	0	1	0	1	2	19	227	274
割合	2.2%	6.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.7%	6.9%	82.8%	100%
	12.8%	38.3%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	4.3%	40.4%		100%

これらの被害事例の「自由記述を見ると、「帰ってくると、いつもと様子が違って落ち着かず興奮していた」「怒りながら帰宅したので、よく聞いてみると被害にあったことを泣きながら話してくれた」というものであり、被害にあった本人が被害事態を不快に思い、それぞれに心理的ショックを受けていたことを親は心痛を抱きながら被害を訴えられずにいたことが記述の中からも読み取れた。

他の被害についても同様な傾向があった。学校期にある女兒の被害割合を見ると（有効回答）、「性的な言葉を言われた」（6名／11名、54.5%）「しつこく追いかけられた、性的なものを見せられた」（6名／14名、42.8%）、「性的なことで脅された」（3名／8名、37.5%）というように、比較的短い学校期において高い比率で性被害にあっている実態がより鮮明になった。発達の初期である学校期にこのような性被害を経験してしまうことが、その後の彼女たちの心身の発達に大きな影響があることは明白であり対策を急がねばならない。また加害者が「不審者・市民」である場合は、本人も親も被害を認識しやすいが、家族あるいは教員などの信頼をおいた存在からの被害は認識しにくい。調査の課題である。

3) 性被害経験の実態とその特徴—「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害について

同様な項目で、「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」についても調査した。被害は本人からよりも周辺の方答えやすい場合があるからである。その結果、67名（回答者の33.5%）の親がのべ92事例の被害実態があったことを報告している。うち、実際に事例を回答してくれたものが以下であった。

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

選択肢	「1人の子が、1回だけ被害を受けた話」	「1人の子が、繰り返し被害を受けた話」	「複数の子がいっしょに被害を受けた話」	その他	無回答	合計
度数	42	25	13	14	207	274
割合	15.3%	9.1%	4.7%	5.1%	75.5%	100%
	62.7%	37.3%	19.4%	20.9%		100%

「繰り返し」および「複数の子が一緒に」被害を受けたことを見聞きしている人が半数近くおり、性被害実態の執拗な実態がうかがわれる結果となった。

性被害内容の特徴や時期については、上記の「自分の子どもでの経験」で見られた結果と同様な傾向であり事例数が多く報告されている。①「身体に触られた」が多いが、「性的な言葉を言われた」「しつこく追いかけられた、性的なものを見せられた」も少なくなく、重篤な性被害である「性的なことで脅された」「性関係を迫られた／させられた」の被害も事例数が多く報告されていた。②被害にあった時期も同様で、学校期に遭った割合が半数近くを占めていた。③加害者については以下のように、さまざまな事態が事例として挙げられていた。ここでの事例は知人を經由しての事態が含まれているので、詳しい内容については聞き取り調査を承諾している回答者からさらに詳しく聞き分析することが必要。

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「身体に触られた」被害はだれから？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	8	15	0	3	3	2	4	7	232	274

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「性的な言葉を言われた」被害はだれから？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	7	8	0	2	2	0	1	5	249	274

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「しつこく追いかけられた、性的なものを見せられた」被害はだれから？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	6	7	0	2	1	2	1	4	251	274

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「性的なことで脅された」被害はだれからですか？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	7	5	0	2	1	1	1	3	254	274

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「性関係を迫られた／させられた」被害はだれから？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	7	7	0	1	2	1	1	4	251	274

■ 「知人あるいは周辺の親の子どもが経験した性被害」

— 「その他の性的ないやがらせ」はだれから？

選択肢	わからない	不審者・市民	園の先生	学校の先生	施設の職員	会社の人	家族・親族	その他	無回答	合計
度数	6	1	0	2	1	0	0	6	258	274

4) 事例からみる、学校期の子どもたちの性被害経験の実態とその特徴について

ここではいくつかの事例から、特に学校期の子どもたちの性被害実態を分析してみた。

(1) 以下は、学校の場面で起こった事例であり、教員職員教育委員会の対応に疑問が寄せられた事例であった。

<p>スクールバス内で運転手の男性より、数ヶ月にわたり、身体に触られていた。最初は冗談であったが、本児が嫌がり、「やめて」と言ってもやめてもらえなかった。</p>	<p>本人が母親に告げて援助を求めた。</p>
---	-------------------------

<p>(教員が)学校行事の時に何かの拍子でお尻に手がいった。そのときはセクハラとは受け止めていない。</p>	
--	--

<p>学校の近くを先生とマラソンをしている時、胸を触られた。本人は自転車に乗っていたお兄さんが触ったといいました。先生は近くにいても気がつかなかったそうです。</p>	<p>本人が家に帰って報告しました。</p>
---	------------------------

<p>特殊学級の同級生の男子生徒(高機能自閉症児)に下着(下)を下ろされ、局所を見られた事例を知っています。その後の対応には男子生徒は出席停止になったりしましたが、教育委員会の見解としては、男女比や障害の度合いを全く無視して、人数が減ったから、正職を減らすという対応をした直後にこの男子の事件が起きました。さらにこの男子がいなくなったのであろう事か、介助印まで減らそうとしました。人数しか見ていない現場を甘く見ている委員会に腹立たしさを覚えました。</p>	
--	--

<p>同じ男子生徒が、別の女子生徒にはりついたり身体について興味を持っていてしつこくしていた。女性教師が厳しく監視していたが、年度が替わり、女性教師が移動となった途端に上の(26)の事例に発展した。委員会の責任の甘さが招いたと思う。女子生徒は、その男子生徒をととても恐がっていて、女性教師がいなくなっからは、かなり不安であったと聞いている。</p>	<p>同級生や仲間の比較的軽い障害者による被害もあるのではないのでしょうか。やはり、彼らも人間。自分よりも弱いものは誰なのかわかっていますから……。小学校くらいでは男子が女子に抱きついても「ほのぼのしている」と軽視するのも問題なのでは。</p>
--	--

・25 年位前、当親の会会長に、会員から、特学小担任より子どもがワイセツ行為をうけているという告発の手紙が届けられた。その後は不明。・つい最近友人が、15 年前の特学の担任が女の子をひざにのせて胸をさわるなどしていた。何も言えないまま、その先生は異動していったとのこと。

性的被害があったかどうかはわかりませんが、小 1 の時、担任の女の先生が 3 ヶ月間突然休職されて、(2 学級で 3 人の女の先生が 8 人の子供をみていらしたのですが)男の先生に代わり、うちの娘(当時小 1)と小 2 と小 3 の男の子がその先生の担任になり、いつも教室は閉められていて、それまでみていらした女の先生(1 名)にも全くみてもらえず、子供の様子を聞いても「教室内の時間のことは全くわかりませんから」と云われました。その頃、足に物をはさんだりする癖がみられました。

親の目の離れた所では、実際を知ることができないのが現状です。親としてやるべきことは、服装など身だしなみを気をつけてあげること位しか思いつきませんが…。見たり知ったりした人が黙せず助けてあげる環境づくりが大切だと思います。親としては被害にあわないように祈るだけです。

普通学級の小学校でわいせつ行為をし、教員がクビか業務停止になり、しばらくして、4 月に養護学校へ配置されてきた。ウワサを聞き、その教員がわが子の担任になった。

人から聞いた話です。同じ中学の特学に入学したダウン症の女の子はとてもおしゃれで、制服はセーラー服でしたがスカートを短くして、今時の女の子っぽく通学していました。小柄ながら胸も結構大きかったせいか、普通学級の男の子の目に入る存在だったのかもしれませんが。(この時期中学全体がとても荒れていて、盗難や破損など様々な事件が続いていました)一部の普通学級の男子生徒が校舎の 2~3 階窓からその女の子に向かって「やらせろー」など卑猥な言葉を浴びせるようになり、たまたま登下校で特学に通うわが子に付き添っていた別のお母さんが、その光景を目にして、特学の担任へ報告したと聞きました。その後の対応がどのようにされたかはわかりませんが、性的な言葉でからかわれていた状況が続いていたようです。

別の保育者の通報

(2) 以下は、性被害の解決方法として、適切であったのか検討したい事例である。

<p>養護高等部のとき、実習先の通所施設でのこと。男性利用者の体格のいい人よりスカートの前ウエストから手を入れてきたので、本人の担任先生より言われて他の施設に入所したほうが良いとアドバイスを受けて解決しました。</p>	
---	--

<p>中学校の特学クラスで応接セットのあるところで、男子生徒が特定の女子生徒と二人きりになる機会を作り、(女子生徒の)ズボンを無理に下ろしたという。両方の親、担任の先生、校長先生などが話し合っ、男子生徒は転校させられた。</p>	<p>介助の女の先生が女子生徒が戻ってこないことを不審に思って探しに行き2人を見つけた。</p>
--	--

(3) 以下は、学校における教育や異性(男性教諭)の対応について配慮を求めた事例である。

<p>現在の学級担任は女性ですが、今後、男性の教諭にも指導を受けたいと思う反面、性被害を受ける可能性を考えると複雑な心境です。</p>	
---	--

<p>女の子で身体も女性らしくなっているので、性被害にあわないかと心配です。身近な人に何かされそうになった時に「いや」と言えるように子供に教えていこうと思います。何かあったときに小さなサインでも発信できるように、言葉が出ない子供でも拒否やコミュニケーションツールを日頃からもてるようにしていくことも大事だと思います。</p>	
--	--

(4) 以下は、本人自身に、被害認識や「自分で自分を守る」力(セルフアドボカシー)があることが被害を未然に防ぎ予防することだという事例である。

<p>通学時、新京成の電車の中、二人の女子(養護学校高等部に通いだしたばかりの頃)の間に座った男子(20歳くらいの人)一人の女子に性的な事を言ったが、その女子は「変なことを言わないでください」というようなことをしっかり言ったら、何も言わなくなって、もう片方の女子に同じように耳元で言ったとのこと。その女子は何のことか分からなかったのか、黙っていると、片方のほっぺをぺろっとなめられたとのこと。</p>	<p>片方の女子が、そのことを、学校の先生と、母親に話したことからわかりました。</p>
--	--

<p>車で近づいてきて、お父さんの友達だけど君の家の近くまで行くから乗りなさいと言われ、父は死んでいませんから車に乗らせんと強く断ったらしく、あきらめたように走って去り安心したら、少し先のスーパーの前で又声をかけられ、ズボンの前を開き見なさいと嫌なものを見せられ、びっくりしてスーパーに飛び込んでしばらく様子を見て家に帰ってきました。とても恐かったと言っていました。時々家の前、学校の近くで車を見かけたとその後も言っていました。心配で心配で、学校から無事に帰ってくるまで生きた心地がしませんでした。</p>	<p>娘から直接聞いた。</p>
---	------------------

<p>通学途中(帰路)、人家の少し離れた木の多い暗い道でつかまり、小屋のような建物の中に連れ込まれたということです。大声を出したか、騒いだかしてのがれ、最悪の事態には至らなかったと聞いています。</p>	<p>本人が母親に訴えて、すぐ先生に知らせ、一緒に実地検分のようなことをしたということです。</p>
---	--

<p>通学の電車の中で、性的な言葉を言われ、さらに耳をなめられたということ。</p>	<p>私の娘と一緒に、娘は嫌だと断ったが、友人はいえなかったということを知りました。</p>
--	--

(5)以下は、教員の目の届かないところで、子どもたちの性的な関わりが起こるという事例であった。

<p>養護学校内で、軽い知的障害の子が重度の女の子に対し、先生が見ていないところで触っているらしい、と聞いたことがあります。</p>	<p>母親が、加害者の様子(おどおどしたり)に不審をもち、見張ったと聞きました。</p>
--	--

(6)その他の事例

<p>同級生から女の子に興味を持ち始めた時なので、仕方ない…。と思い、先生からも軽く注意を受けたようなので解決。</p>	<p>学校に用があったとき、目の前で言っていたので、親の私にも「〇〇ちゃん、なんで？」ときいてきたので</p>
--	---

<p>中学校(特殊学級のとき)1歳年上の先輩から、バスを待っている時に胸をさわられた。先生に本人が言って指導してもらい、親もチャンスを見てやられた本人に話をした。同じ作業所内で、休憩時に外で、談笑しているときに胸を触られ、職員が、注意指導してくれた。</p>	<p>胸が大きいので目立つ。</p>
---	--------------------

<p>クラスの男の子にしつこく何回かおでこにキスされたり、追いかけられたりした。現在はそんな行動はなくなりました。</p>	<p>授業参観前(朝の会の前)に男子児童1人がおでこにキスしたり追いかけたりした。担任からふだんは、時々「かわいい！」と言って身体にくっついていたりしているそうです。本人はよくわかっていない様子できょとんとしています。</p>
---	---

<p>同級生から女の子に興味を持ち始めた時なので、仕方ない…。と思い、先生からも軽く注意を受けたようなので解決。</p>	<p>学校に用があったとき、目の前で言っていたので、親の私にも「〇〇ちゃん、なんで？」と聞いてきたので</p>
--	---

<p>通っていた養護学校の昇降口で、年長の男子生徒(17~18才)に、ズボンの中に手を入れられ下腹部を下着の上から触られた。この男子生徒は以前から家の娘に関心があるようで、見つめたり、手と手でタッチを要求していたように思う。でも好意かそれ以上の性的関心があるかは判断できなかったが、このことがあってからは先生に話して、適切に対応してもらおうよう頼んだ。</p>	<p>その日、母親が迎えに行った時(顔を合わせたときに)娘は自分の下腹部を手でパシッとたたいて、何かを訴えているようだった。その後、その場に居て見ていた友達の母親に電話で教えてもらった。</p>
--	---

<p>・知的障害のある同級男子に胸を触られた。(服の中に手を入れてきた)担任の先生が何度か目撃しやめさせた。 ・プールに行ったとき、知らない人(障害者らしい)に胸を出せといわれ見せてしまった。 ・自閉症グループの水泳教室に通っているとき、終了後、外で待っているとき、先輩(自閉症男子)にスカートの中を触られた。(何度か)</p>	<p>目撃した人に教えられた。</p>
--	---------------------

<p>人通りの多い通りから死角になる場所に連れて行かれて、じかに陰部や胸をさわられたということが2回。同じような場所で、性的なものを見せられたことが1回。</p>	<p>担任が、学校の帰りにお兄さん(?)と待ち合わせしているという話を不審に思って下校時尾行してくれた。帰宅後、登校途中であったお兄さんとの話の内容があやしかったので、体を触られたかと聞いたところ、触られたということだったので、教頭先生と一緒に、警察に被害届を出した。</p>
---	--